

2020年8月11日

各 位

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社

ベルギーの世界トップシェアのソフト会社と提携、 太陽光発電所診断サービスを開始 ～ドローン空撮とAIを活用し、保守・点検業務をデジタル化～

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社（本社：東京都江東区、社長：佐藤 厚範）は、このたび、ドローン空撮・解析サービスで世界トップシェアを誇るソフトウェア会社 SITEMARK.NV（本社：ベルギー、CEO：Michiko Lloyd）とのパートナーシップにより、国内の太陽光発電所の診断サービスを開始しますのでお知らせします。

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメントは、オリックスグループが手掛ける大規模太陽光発電所（111カ所、設備容量合計 826MW）のうち、現在 86 発電所（計 450MW）の運営・管理・保守業務を受託し、ノウハウの蓄積を図っています。

2018 年半ばより、SITEMARK のソフトウェア[※]を導入し、管理する太陽光発電所のドローン空撮・解析業務に活用しています。デジタル化により運営状況を可視化し、異常の早期発見・改善を行うことで、業務の効率化のみならず、発電収益の向上に努めてきました。その結果、導入効果が十分に認められたため、全国の発電事業者または発電所の保守・管理会社に対して、当該ソフトウェアを用いた太陽光発電所診断サービスの提供を開始します。ドローン空撮や点検結果の納品にとどまらず、当社のこれまでの運営実績に基づく発電所運営の改善提案までご提供できる点が特徴です。

本サービスでは、赤外線サーモグラフィーを搭載したドローンが太陽光パネルの空撮を行い、人工知能（AI）を搭載したソフトウェアにより太陽光パネルの異常を種類ごとに自動分類することが可能です。従来は人的な目視作業などによって多くの時間がかかっていた太陽光発電所の保守・点検業務をデジタル化することにより、省人化と正確な保守・点検を同時に実現します。

オリックスグループは、今後も再生可能エネルギーによる発電およびアセットマネジメント事業を幅広く展開することで、再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

※ 世界 39 ヶ国、120 社に対し約 2,000 回（合計約 7,000MW）のサービスの提供実績あり

以 上

＜本サービスに関するお問い合わせ先＞

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社 TEL：03-6666-7501

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞

オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 角谷・小田 TEL：03-3435-3167

■オリックスグループの発電所改善事例

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメントが運営・管理・保守業務を受託している福岡県大牟田市の発電所において、2018年にドローン空撮・解析業務（費用：約100万円）により1,000カ所以上の異常を検知しました。この中から修繕費用以上に発電収益の増加が見込まれる修繕（費用：約200万円）を実施した結果、日射量を前年と同量に調整後で年間700万円超の発電収益の増加を達成しました。また、2019年のドローン空撮と解析業務を行った際の異常検知は219カ所に減少しました。

2018年（1,117カ所）



2019年（219カ所）



■サービス概要

空撮サービス

④ 効率化と質の担保



発電所の状態分析、解析に必要なパネル写真はドローンで効率的に取得。作業時間を短縮することができるほか、自動化で一定品質のデータ納品を実現。

※2MW、約8000枚のパネルを1時間-1.5時間で撮影

④ ユーザー負担の極小化



ドローンによる点検は非接触検査のため、点検時の発電停止などは一切不要。撮影時に必要な許認可取得も当社が対応。

④ 全国対応ネットワーク



天候、機材、フライト工程など一定条件下での撮影が求められるドローン空撮に対応できる、自社パイロット、パートナーネットワークを構築済み。

分析・解析サービス

AI・アルゴリズムで自動分析、分類

取得データは、AI・アルゴリズムを搭載したソフトウェアで解析。
三つの分析機能で異常箇所の対応要否検討を容易に。

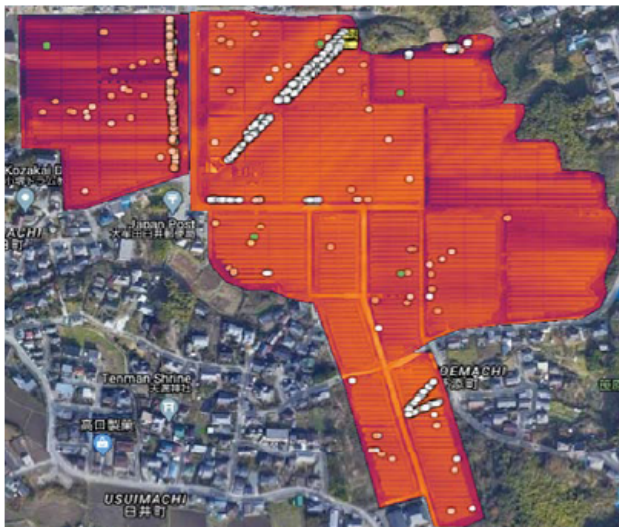
- ①異常発生箇所の特定 ②異常種別の特定 ③異常の深刻度分類

※異常種別の特定はホットスポット、接続箱異常熱、バイパス不良、PID等主に4種類

解析結果は診断レポートで一目瞭然

診断結果はWEBプラットフォーム上で、統計レポートとして提供。

点検結果 イメージ部



※サンプル点検結果(OKY大牟田、2019年実施)

統計レポート一部

